

2012年07月版



Kabuto

FF-RⅢ

FF-RⅢ系 取扱説明書

保存用



ご使用になる前に

この取扱説明書は必ずヘルメットご使用前にお読みください。またお読みの後は、保管してくださいませようお願いいたします。

メットインスペースへの収納について
当製品は、車種により「メットインスペース」への収納ができない場合があります。
あしからずご了承ください。

1 あごひもの取扱方法

●ワンタッチバックルの脱着

このヘルメットには、あごひもの脱着が簡単に出来る「ワンタッチバックル」を採用しております。

⚠ 警告

ワンタッチバックルを装着しないで走行したり、装着が不完全ですと、万一転倒した際に、ヘルメットが脱げてしまうおそれがありますので、オートバイに乗る前に、確実に締まっているかを確認してから、走行してください。

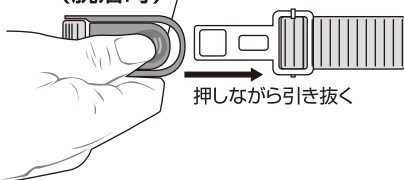
(装着時)



バックル本体へ差し込む

リリースボタン

(脱着時)

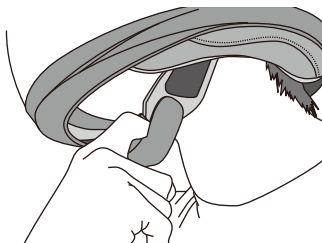


押しながら引き抜く

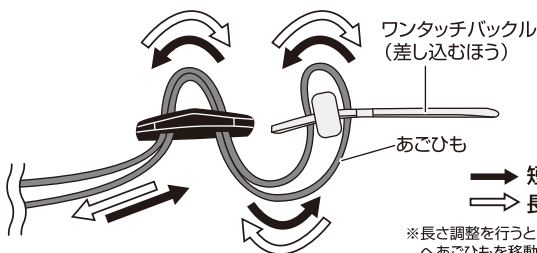
●あごひもの長さ調整

【適正なあごひもの長さ】

ヘルメットをかぶり、ワンタッチバックルをしっかり締めます。その際、のど元付近のあごひものどの間に、人差し指一本入る程度が適正なあごひもの長さと言えます。このときに、あごひもの長さが合っていない場合は、あごひもの長さ調整を行ってください。



真横より見たイメージ



➡ 短くするとき

⇨ 長くするとき

※長さ調整を行うときはそれぞれの方向へあごひもを移動させてください。

⚠ 警告

ワンタッチバックルをしっかり締めても、あごひもの長さが適正でないと、万一転倒した際にヘルメットが脱げたり、首元が必要以上に絞まったりするおそれがあります。あごひもはヘルメットの重要な部分ですので、慎重かつ正確に調整しましょう。

2 ベンチレーションの操作方法

このヘルメットには、ヘルメット内部の温度調整を行うための「ヘッドベンチレーション」「チンベンチレーション」と「リアベンチレーション」を装備しています。

ヘッドベンチレーションの開閉

シャッターを上へ
スライドさせると開く



エア取入口

シャッターを下へ
スライドさせると閉じる



ヘッド
ベンチレーション

リア
ベンチレーション

チン
ベンチレーション



チンベンチレーションの開閉

レバーを下げると開く



レバーを上げると閉じる



レバー

リアベンチレーションの開閉

レバーを左へ
スライドさせると開く



レバーを右へ
スライドさせると閉じる



エア排気口

！ ご注意

リアベンチレーション部分を持ってヘルメットを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。リアベンチレーションが破損するおそれがあります。

⚠ 警告

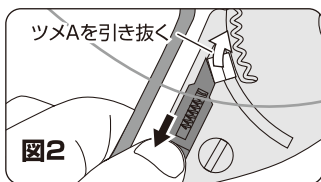
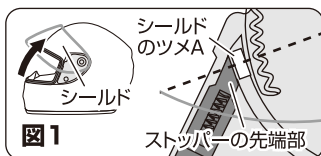
ベンチレーション操作は、必ず停止した状態で行ってください。走行中の操作は集中力が散漫になり大変危険です。

3 シールドの脱着

●シールドの取り外しかた

【この説明は左側より取り外します】

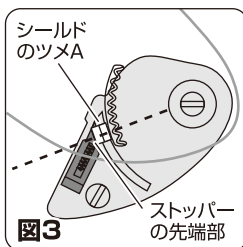
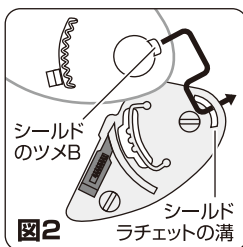
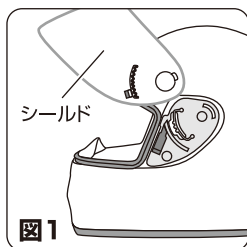
- ①(図1)のようにシールドを全開にして、シールドのツメAとストッパーの先端部の位置を合わせます。
- ②(図2)のようにストッパーを下に引いたまま、白矢印方向へシールドのツメを引き抜くと、シールド片側が完全に取り外せます。
- ③この作業をもう片側も行くと、シールドが完全に取り外せます。



！ ご注意

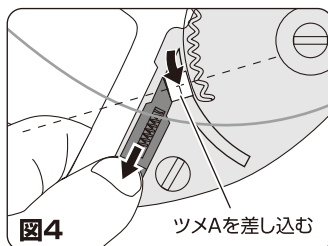
- 取り外す際はシールドを無理に引き抜いたり、ねじったりしないでください。シールドやラチェット機構が破損するおそれがあります。
- 取り外したシールドは、キズが付かないよう、お取り扱いには十分ご注意ください。

●シールドの取り付けかた



【この説明は左側より取り付けします】

- ①(図1)(図2)のように、シールドのツメBをシールドラチェットの溝に差し込み、シールドのツメAとストッパーの先端部との位置が合うよう、シールドのメカ部分をラチェットの上へ(図3)のようにかぶせます。
- ②ストッパーを引いたまま、シールドのツメAをラチェットに差し込むと、取り付けできます。(図4)
- ③この作業をもう反対側も行うと、シールドの装着は完了です。



！ ご注意

- 取り付ける際はシールドを無理に差し込んだり、ねじったりしないでください。シールドやラチェット機構が破損するおそれがあります。
- 取り付けたあと、必ず一度シールドを抜く方向に軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。
- シールドの取り付けが完了したら、シールドを3～4回開閉し、正確に開閉動作が出来るか確認を行い、異音がしたり、開閉動作がうまく出来ない場合は、当項目を再度よくご覧になり、最初から取り付け直してください。

！ 警告

- シールドの取り付け後は、シールドが確実に取り付けられているか、また開閉動作が正しく出来ているかの確認をしっかりと行ってから走行してください。開閉動作が不完全な場合や取り付けが不完全ですと、万一、走行中にシールドがうまく作動しなかったり、脱落する可能性があり、大変危険です。
なお開閉動作時に異音がしたり、開閉動作がうまく出来ない場合は、当項目を再度よくご覧になり、最初から取り付け直してください。
- シールドは消耗品です。虫や飛び石などでシールド表面がキズ付くと、視界を妨げる原因となり、大変危険です。キズや汚れが著しい場合は、そのまま使用を続けずに、早めに新しいシールドに交換してください。

4 シールドラチェットの脱着

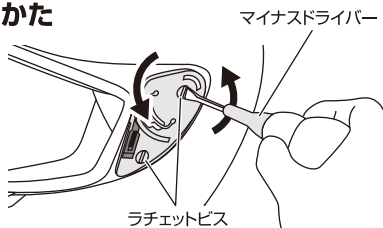
「シールドラチェット」とは、シールドの開閉や脱着機能をコントロールする部分です。

③ シールドの脱着でシールドを完全に取り外すとシールドラチェットが現れます。

● シールドラチェットの取り外しかた

【この説明は左側より取り外します】

シールドラチェットを取り付けている、シールドラチェットビスをサイズの適したマイナスドライバーで、左（反時計方向）に回すと、ビスが取り外せ、シールドラチェットも完全に取り外せます。この作業を反対側も行います。

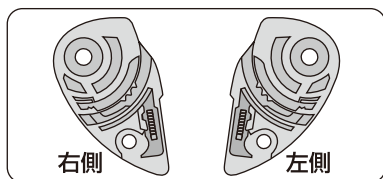


！ ご注意

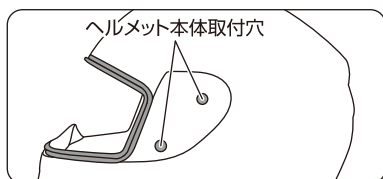
- シールドラチェットビスを取り外す際は、ビスに対して正しくサイズが合ったドライバーを選び、ビスに対してドライバーが垂直になるように回してください。サイズが合っていないかったり、斜めに回したりすると、ビスのネジ山が潰れてしまうおそれがあります。
- 取り外したビスは紛失しないようご注意ください。

● シールドラチェットの取り付けかた

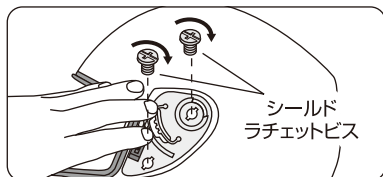
① まず、シールドラチェットの方角を確認します。



② ヘルメット本体・横のくぼみにシールドラチェットをのせシールドラチェットの取付穴とヘルメット本体の取付穴を合わせます。



③ シールドラチェットビスを2箇所とも右（時計回り方向）にしっかりと締めます。この作業を両側とも行うと取り付け完了です。



内装脱着システムでいつも清潔さをキープ!

このヘルメットは、汗やホコリなどで汚れたとき、「あごひもカバー」・「チークパッド(ほほ)」・「インナーパッド(頭)」を取り外して洗うことができます。

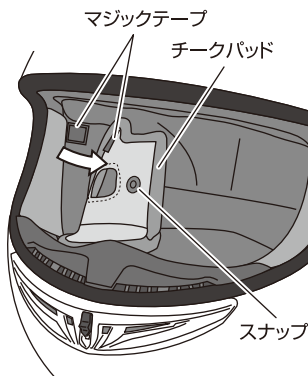
5 チークパッド(ほほ)の脱着

●チークパッドの取り外しかた

チークパッドをしっかりと持ち、マジックテープとスナップよりチークパッドを取り外し、抜き取れば取り外せます。この作業を左右両方とも行います。

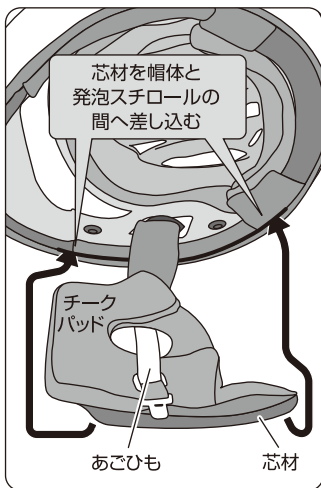
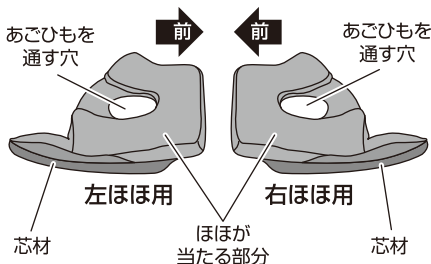
! ご注意

チークパッドを取り外す際は、マジックテープおよびスナップが付いている根元から外すようにしてください。無理に引っ張ったりすると、チークパッドが破損するおそれがあります。



●チークパッドの取り付けかた

- ①チークパッドの方向を確認します。
- ②あごひもをチークパッドの穴へ通し、チークパッドの芯材を帽体と発泡スチロールのすき間へ差し込み、取り付けます。
- ③最後にチークパッド裏側のマジックテープとスナップ2箇所を帽体側へしっかり押さえて止めれば完了です。
この作業をもう反対側も行うと、チークパッドの装着は完了です。



! ご注意

チークパッドが完全に取り付けられていることを確認してから走行してください。また正しく取り付けていなかったり、取り付けずに走行するのは、危険ですのでおやめください。

⑥ あごひもカバーの脱着

このヘルメットは、汚れた時などにあごひもカバーを脱着して洗うことが可能です。

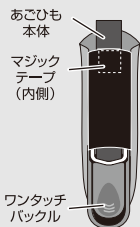
●取り外しかた

- ①あごひもの根元にあるマジックテープより「あごひもカバー」のマジックテープを取り外します。
- ②「あごひもカバー」をあごひも本体より引き抜き、取り外したら、完了です。

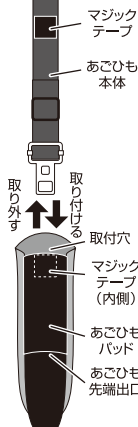
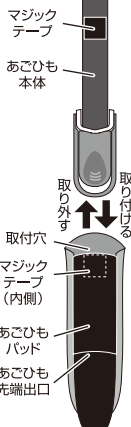
●取り付けかた

- ①取り外した逆の手順（あごひもカバーの方向に注意）で、あごひもカバーの上方より、あごひもを通し、あごひもカバーの穴よりあごひもの先端を出します。
※あごひもカバーは、左右共通品です。
- ②最後にあごひもに付いているマジックテープへしっかりあごひもカバーを押し付け止めれば完了です。

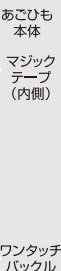
●あごひもカバーの脱着（短い方）



「あごひもカバー」をあごひもに装着した状態



●あごひもカバーの脱着（長い方）



「あごひもカバー」をあごひもに装着した状態

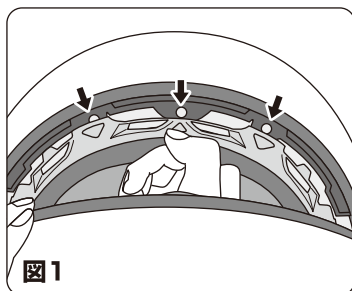
！ ご注意

あごひもカバーを取り付ける際は、あごひもカバーの表（レザー部分）・裏（あごに当たる生地部分）の方向にご注意ください。

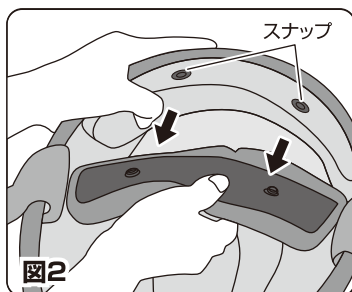
7 インナーパッド（頭）の脱着

●インナーパッドの取り外しかた

- ①（図1）のように、額付近のスナップを下方向に引っ張り、外します。



- ②次に後頭部にある、2箇所のスナップを外せば、インナーパッドを全て取り外せます。（図2）

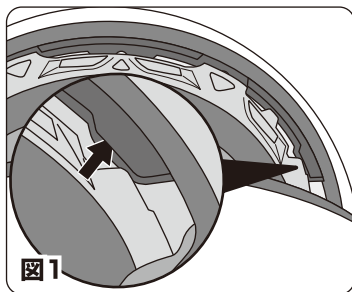


！ ご注意

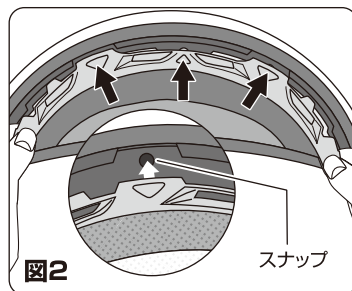
インナーパッドを取り外す際、芯材やスナップは、強引に引っ張らず、ゆっくり引き抜いてください。パッドの生地やその他部品が傷むおそれがあります。

●インナーパッドの取り付けかた

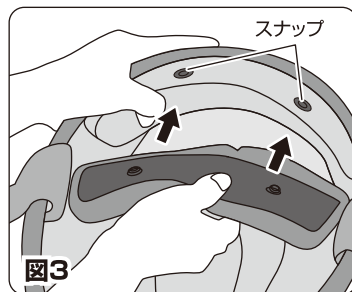
- ①(図1)のようにこめかみ部分の芯材をはじめに差し込みます。



- ②(図2)のように本体にある、3箇所のスナップをそれぞれ押し込みます。



- ③最後に後頭部にある、2箇所のスナップをそれぞれ取り付けて完了です。



！ ご注意

- インナーパッドが確実に取り付けられていないと、走行中にヘルメットがずれる可能性があります。ジョイントおよびスナップは確実に取り付けてください。
- ヘルメットの装着感をより良くするためにも、パッド類の装着は正確に行ないましょう。

あごひもカバー、チークパッド、インナーパッドの 洗浄・メンテナンスについて

- 取り外した各パッドを洗濯機で洗う場合は、市販されている家庭用洗たく洗剤を使用し、必ず洗たくネットに入れてから洗ってください。また洗たく後は、しっかり水気をきり、直射日光の当たらない風通しの良い場所でかけ干しを行ってください。
- 回転式乾燥機能付の全自動洗濯機などで、乾燥温度が50℃以上になるような場合は、必ず手洗いをし、しっかり水気をきってからかけ干ししてください。
- 雨天走行後など、パッドが濡れてしまった場合は、そのまま放置せず乾いた布で水気をしっかりふき取ってから、かけ干ししてください。
- 各パッドは、“消耗品”です。生地が傷んだりフィット感が悪くなってきたら、パッドの交換をおすすめいたします。

SGマークの制度について

このヘルメットにつけられているSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり製品安全協会の定めるSG基準に適合していないために、

着用者が損害を被った場合に、その損害を賠償するものです。

なおプロオートバイレースやサーカスなどの特殊な用途に用いている際の負傷や、SG基準が定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷などは賠償の対象になりません。

SGマーク制度の有効期間は、「購入後3年間」です。

ヘルメットは使用にともない、老朽・劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持出来ないことがあります。このため、SGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年間」との有効期限を定めて、ヘルメットに表示しております。

有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しないおそれもありますので、十分にご注意ください。

また、3年以内であっても、大きな衝撃を受けたヘルメットや破損・改造したヘルメットも事故の際に十分な保護性能を発揮しないおそれがありますので、十分にご注意ください。

SGマークに関するお問い合わせ先は、

製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2階

☎(03)5808-3300(代表)



株式会社 オージーケーカブト

〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3-4 TEL:06-6747-8031